

■ 製品仕様 (E55)

品名	外付け式 バードヒーター	
電源電圧/周波数	定格電圧 AC100V / 50/60 Hz	
消費電力(※最大値)	20W (±10%)	
可変温度	OFF・80℃・95℃	※ 2段階 温度設定機能 ※ 設定温度許容量誤差は±5℃です。(OFF以外)
安全回路	抵抗電流ヒューズ	
動作周囲温度	10℃～40℃	※ 本品は屋内の環境でご使用下さい。
製品サイズ	本体部：124×190×25.5(mm)	※ 留め具取り付け部・突起部等を除く
製造国	日本	

※ 厳寒期等、外気や床材の熱吸収量が多い時は、目的温度に達するまでに時間が掛かる場合や温度が上がりにくい場合がございます。他の保温器具の併用をおすすめします。

保証書欄



小鳥用 ケージ外付けヒーター

外付け式 バードヒーター

取扱説明書
・
保証書

この度は、当社製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。
当社製品をご使用になる人、飼育する生き物、また別の人や品物への損害を未然に防ぐ為にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用下さい。
なお、この説明書には保証書が付属しております。お買い上げ精算時のレシートと共に大切に保管して下さい。



警告

感電や火災等の重大な事故を回避するために必ずお守り下さい。

- ・本品は小鳥（小型フィンチ・小型インコ・中型インコ等）用の屋内ケージ外付け型保温器具です。他の生き物や用途には使用しないで下さい。
- ・電源は、AC100V：50/60Hz(家庭用電源)です。それ以外の電源では使用しないで下さい。
- ・水場の近く、水の掛かる場所、多湿になる場所、屋外、火気の近くでは使用しないで下さい。
(基本的な小鳥の室内飼育環境下でご使用下さい。極端な環境下での使用は想定しておりません。)
- ・本品は飼育ケージのケージ網の外に取り付けて使用して下さい。飼育容器の中での使用は避けて下さい。
(本体及び発熱プレート・電源コードの破損や漏電、小鳥へのヤケドの原因となります。)
- ・本品は精密機械ですので、取り扱いには十分ご注意ください。本品のいかなる部分も分解・改造をしないで下さい。また、本品を落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。
- ・お子様には操作や設置をさせないで下さい。また、お子様がいたずらしないように十分注意して下さい。
- ・使用時に、本体の排熱口を塞がないようにして下さい。
- ・電源コード、プラグ、本体に水が掛かった時は、使用を中止して下さい。
- ・濡れた手でプラグやコンセントの抜き差しはしないで下さい。
- ・電源コードを束ねたり、飼育容器で押し潰さないようにして下さい。
- ・本品の設置時はプラグを抜いて、電源を切った状態で行って下さい。
- ・コンセントからプラグを抜く時は電源コードを強くひっぱらないで下さい。
- ・タコ足配線での使用は避け、電源プラグやコンセントにホコリやゴミが付着しないように確認・清掃を行って下さい。



ご注意

小鳥や本製品の損傷回避のために必ずお守り下さい。

- ・発熱プレートの表面温度と飼育容器内の温度は設置条件で異なります。目的の保温位置に温度計を設置して、必ず確認するようにして下さい。
- ・本品を使用する際、生き物が温度を熱く感じる時に生き物自身が熱から退避できるように設置するようにして下さい。
- ・発熱プレート部は高温になります。生き物が直接発熱プレートに触れ続け無いように注意をして下さい。
- ・発熱プレートの温度は、設定温度(誤差含む)以上には上昇しませんが、本品や飼育容器を覆って密閉された状態では設定温度以上に上昇する場合があります。本体を含めて全体を密閉した状態では使用しないで下さい。
- ・本品は、飼育容器内の一部を補足的に温めるものです。飼育環境全体の空気を暖める場合は、エアコンや白熱球等の保温器具を合わせて使用して下さい。
- ・プラスチック等、飼育容器の材質によって、発熱体に近い部分が変色・変形する場合があります。また、排熱口の近くに接していると熱によって、家具や壁紙等が変色する場合があります。
(排熱口から10cm以上離すようにして下さい)
- ・使用時における事故に関しましては、責任を負いかねますので 予めご了承下さい。



販売者：株式会社 三晃商会
〒562-0035 大阪府箕面市船場東2-3-54
TEL:072-728-3001 www.sanko-wild.com

⚠️ 設置でのご注意

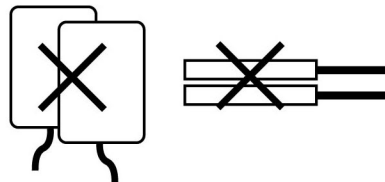
小鳥や本製品の損傷回避のために必ずお守り下さい。

- ・直射日光の当たる場所や、高温多湿、火気の近く、ホコリが多い場所では使用しないで下さい。
- ・発熱面を床面等に伏せた状態で通電/加温はしないで下さい。
- ・設置は、飼育ケージの外に取り付けて下さい。また、本体の設置時に電源ケーブルが、小鳥の触れない位置になるように方向や位置を調整して下さい。
- ・物を乗せたり、本体や発熱プレートに圧力がかかる様な留め方や設置をしないで下さい。
- ・飼育用品や、止まり木の留め具などを発熱プレートに接触させないようにして下さい。
- ・発熱プレートを傷つけないで下さい。
- ・水滴が掛かった時は速やかに乾いた布でふき取って下さい。
※本品に防水機能はありません。水分が内部まで浸透すると漏電する恐れがあります。浴び水等が飛び散りやすい場所への設置は避けて下さい。時々、本体や発熱プレート表面を点検して下さい。

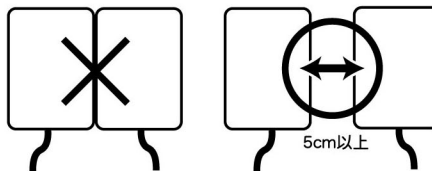
⊗物を乗せない。



⊗本体同士を重ねない。



⊗排熱口を塞いだり、本体同士を接近させない。



- ・他の保温器具や、本品を複数でご使用になる場合、本体同士を重ねたり、近寄り過ぎないように離して設置して下さい。
- ・プラスチック・ビニール用品等、高熱に耐えられない素材の物を本体(特に発熱面)に接近させないで下さい。
- ・小鳥が発熱面に接近し過ぎないように止まり木の位置などを調整して下さい。
- ・小鳥が自分で熱源からの距離を調整できるように本品と止まり木の設置を工夫して下さい。

⊗小鳥が温度を選べない状態では使用しないで下さい。



自分で自由に動けない生後間もない幼鳥等には使用しないで下さい。

- ・狭い環境や近距離での設置。
- ・自分で体が動かせない小鳥への使用。



小鳥が自由に熱源からの位置を選ぶことができるようにして下さい。

⚠️ メンテナンス上のご注意

本製品の破損を防ぐために必ずお守り下さい。

- ・お手入れ時は必ずプラグをコンセントから抜いた状態で行うようにして下さい。
- ・水洗いは絶対にしないで下さい。良く絞った柔らかい布で汚れをふき取り、乾かしてからご使用下さい。
- ・汚れをとる場合は、タワシ等で強くこすったり、洗剤・薬品等は使用しないで下さい。
- ・ご使用にならない時に保管する場合、本体や電源プラグやコードに圧力がかからない状態で保管して下さい。(特にコードカバーを無理に曲げた状態にしておくと変形する場合があります。)
- ・長期間留守にされる場合や使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

■各部の名称



留め具は2個付属しています。

ガードコイル

電源プラグ

電源コード

排熱口 (排熱口は側面4面と背面にもございます。)

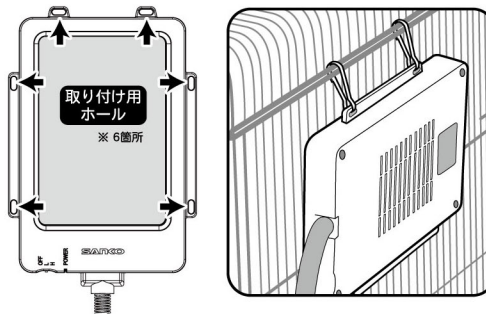
発熱プレート

(発熱面は熱くなりますのでご注意下さい。)

■ヒーターの取り付け方

取り付ける作業を行う時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行って下さい。

本体側面の取り付け用ホールに付属の留め具を通してから発熱プレートがケージの方を向くように設置位置を決め、留め具をケージ横ワイヤーに掛け固定して下さい。



※小鳥がケージの中から電源コードや切り替えスイッチ部に触れ辛くように、位置を調整すると安心です。

※取り付けの際に、強く引っ張った状態や圧力が掛かるような固定状態になると、本体の破損や故障の原因になります。取り付け部位に余裕があり、留め具がしっかりとケージに固定して、本体が安定した状態になるようにして下さい。

温度設定と作動ランプについて

設定温度は、発熱面表面の温度です。保温目的の位置の温度確認は必ず温度計を設置してご確認下さい。

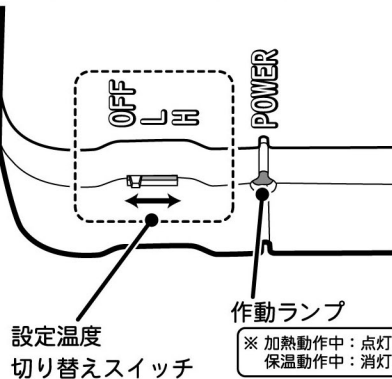
表面温度が設定温度以下の場合、作動ランプ(赤灯)が点灯します。設置時には一旦、温度設定スイッチを「H(High)」の位置に合わせ、作動ランプの点灯をご確認下さい。

設定温度の目安を参考に、温度設定スイッチを「L(Low)」か「H(High)」に切り替えます。表面温度が設定温度以下の場合、加熱動作が行われ、作動ランプが点灯します。

発熱プレートの表面温度が設定温度に達すると、保温動作になりランプが消灯します。

表面温度が低下すると再び加熱動作になりランプが点灯します。設定温度に対して自動で温度制御が行われ、点灯消灯が繰り返されます。

※厳寒期など外気の熱吸収量が大い時は設定温度に達するまでに時間が掛かる場合や加熱動作が継続されランプが消灯しない場合があります。※本品は精密機器です。強い衝撃を与えないで下さい。故障の原因となる恐れがあります。



設定温度
切り替えスイッチ

作動ランプ
※加熱動作中: 点灯
※保温動作中: 消灯

設定温度の目安

OFF	発熱OFF
L(Low)	約80°C
H(High)	約95°C

設定値誤差±5°C